

メーリングリストでの熱いやり取り抜粋—県医師会役員および郡市医師会長

医師会 JMAT 2011/3/28 17:58

小千谷市魚沼市医師会の中村です。

この度の東北関東大地震については、未だかつて経験したことがないほどの被害で、津波で亡くなられた方や被災者の悲しみはどのように慰めてよいのか分からないほどです。そして、このような大災害には必ず医療の大混乱が起きていることは、テレビをとおして皆さんご承知のことと思います。

私達の県は中越地震、中越沖地震という二つの大きな地震に見舞われました。その時、全国から多くの医師たちが集まり、大災害を無事切り抜けられたことは、記憶に残っていると思います。その上、全国の医師会員から新潟県医師会に2億円にのぼる義援金をいただき、私達の医師会、長岡市医師会、柏崎医師会など被害にあった医師会には多額の義援金（当医師会では約6100万円）をいただきました。私達の医師会ではあのときの恩を何とかして返したいと矢も盾もたまず、どのようにすれば良いか思案していましたが、日本医師会 JMAT が立ち上がりましたので、いち早く申し込みました。皆さんの医師会からどれくらい手を挙げるか注目していましたが、未だにほとんど手を挙げる医師会がない状態です。現在、こちらの医師会で4チーム、新潟市で1チーム、佐渡で2チームが参加の表明をしています。既に私達は災害地に行ってきました。皆さんはあの災害の困った時には医療支援を受けるだけ受け、義援金はもらえるだけもらい、いざ東北の人々がこれ程困っている時、何もせずにただテレビで高みの見物など、皆さんはどんな思いでいるのでしょうか。皆さんには医師としての使命感はおありなのではないでしょうか。心ある医師会員の皆さん、JMATに参加して下さい。これは新潟県医師会が試されている時だと思います。各医師会の会長の皆さんのご意見を是非伺いたいと思います。

2011/03/28 18:37

中村忠夫先生

県医理事、内山です。お世話になっております。

本当にお疲れ様でした。身の危険も顧みず、すばやく動かされたことに、心から敬意を表します。

広報担当として—

新潟県の医師も、少なからず動いていることもご理解ください。

地震当日、新潟県から10チームほどのDMATが出発しました。早いチームは地震後1~2時間ですでに出ています。私の勤務する国立病院機構は救援隊が立ち往生、それを救援するチームが危険なほど大量のガソリンを積んで命がけで行って来ました。

県医師会では支援のために、週末もずっと事務局を稼働させています。スポーツと同じで、医師も医師会も、災害や事件を経験しながら強くなっていくものと思っております。

2011/3/29 0:27

中村先生、このたびは本当にご苦労さまでした。余震や原発事故の混乱の最中にすばやく現地に入られた行動力には心から敬服いたします。先生のおっしゃるように多くの医師会員が私もそうでしたが、何をしたら一番の救い、支援になるのかが分らず日々葛藤の連続だったことと思います。私共の医師会員のなかにもいち早く検死のお手伝いをしたいと手を挙げた先生がいたのですが、県医師会からの連絡待ちで出発か？の状態です。「遺体は損傷の激しいものが増えて来たので出動は不要」とのことになり、出鼻をくじかれたケースもあったやにきいております。そうこうしているうちに多くの避難者の方々が当県にも入ってこられ、行政から避難所の方々の健康相談などに協力してほしいとの依頼を受け出務医師の募集やら日程の作製やらで多忙を極める状況となってしまいました。

そんな中、多くの会員から協力の意思表示を頂き熱い物を感じたしだいです。現地へ行ける者、その隙間を埋める者、間接的に節電や節水を実行し自分の今やれる事をやる者、全てが支援ではないでしょうか？被災した方々を励まし元気づけたいという想いは皆が持っていると思います。支援の輪を広げることこそ、今大事なんだと思っています。

新発田北蒲原医師会 廣神俊彦

2011/3/29 9:52

郡市医師会長各位 中村先生ご苦労様でした。実際災害にあった方のコメント、貴重なご意見であったと思います。4月いっぱい石巻を中心に、新潟県、石川県、広島県、兵庫県などのチームで石巻周辺の医療を分担し援助することになっています。県から災害拠点病院1チームが継続で出ることとなっていますが、現地からの要請では継続的に2チーム必要との要望をいただいています。現在、JMATの応募状態から見ますと継続的派遣は困難な状態となっており、被災地からの要望にこたえることはできないと思われれます。県医師会でも渡部会長自ら来週に医療派遣に参加される予定です。中村先生が言われるように、新潟県の医師会が試されているときと考えます。どうぞ郡市医師会の会長の皆さん、JMATへの参加を会員の皆様に呼び掛けていただくようお願いいたします。原則的には、医療派遣のチームは宿泊、食事は自己完結で行っていただきたいのですが、県医師会はJMAT参加の会員の皆様には宿を含め全面的に支援をさせていただいているところです。質問などは県医師会事務局が承っていますので、心配な点は早めに医師会まで連絡をお願いします。今こそ新潟県医師会が団結し被災者の医療を担うときと考えます。よろしく申し上げます。

新潟県医師会 総務担当理事 堂前洋一郎

2011/3/29 16:13

柏崎市刈羽郡医師会 高桑です。

柏崎では原発のつながりが強いためか行政で受け入れている避難者よりも、家族、

親戚、あるいは会社の手配などによる自主的避難の数が非常に多くなっており、市内だけで数千人とも言われています。このところ福島浜通りの新患が全ての会員のところに多数来院しており病歴、薬歴不明のかたも多いためフル回転の状態です。

会員にも医療団編成を打診してみましたが中々積極的に参加するという会員は名乗り出ないようです。

申し訳ありませんがこれら避難者の診療が落ち着くまでは出せないということでもよろしくをお願いします。

2011/3/30 11:31

長岡市医師会の太田です。

小千谷市魚沼市医師会をはじめこれまで DMAT, JMAT で被災地の応援にゆかれた先生方、御苦労様でした。またありがとうございました。

被災地への支援は物心両面ではないですが、実動による援助と義捐金の両方が必須と考えております。実動となりますと、ハードルが高くなかなか大変と思われませんが、中越地震、中越沖地震の2つの地震を経験し、また全国の皆様より応援を頂いた経緯がありますので、できるだけことはやってゆかなければと考えております。

現在、会員のみなさまに、JMAT 参加と、義捐金のお願いを行っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

再び JMAT 参加のお願い 2011/3/31 10:45

小千谷市魚沼市医師会の中村です。

先日はやむにやまれぬ気持ちで少々過激なメールをしましたが、熱い思いをもたれている先生方には失礼なことを申し上げたかもしれません。しかしまだまだ参加の意向を示す会員が少ないときいております。新発田市の廣神先生、柏崎の高桑先生、確かに避難者の医療支援も大事な活動であることは重々分かっておりますし、それは現在多くの市町村で避難者を受け入れており、医療支援活動はどの市町村でも皆さんが行っていると思います。今朝の新潟日報でも上越医師会の活動が載っていました。しかし、いわば後方支援活動と、現地での活動とでは雲泥の差があると思います。私達が行った石巻では拠点病院を石巻日赤におき、全国から 70 チームがきておりました。長岡日赤の内藤先生が石巻日赤の石井先生と一緒に陣頭指揮にあたっており、この度の新潟県の支援がこの地に向かうことになったのも、ひとえに内藤先生のご尽力によるものです。今回新潟県医師会では 2 チームを継続的に参加とのこと、今後のことを考えれば、30～40 チームくらいの参加が必要と思います。それぞれの医師会と県内の主な病院に協力していただければ、何とかクリアーすると思いますが。もし途切れるようなことがあれば、新潟県医師会が笑いものになると思うくらいの意識を持って望んでいただきたいと思います。それぞれの医師会が最低 1 チームだけでも出せば、そして長岡市と柏崎市がああ地震の時のことを考えれば複数チーム出していただければ何とかなるのではないのでしょうか。(小千谷市では小千谷総合病院が 2 チーム参

加を表明しました)今こそ新潟県医師会の底力をみせる時です。じっと嵐が過ぎ去るのを待って被災地の救援活動をしないているような事は許されないと思うのですが、いかがでしょうか。

メイリングリストに登録していない医師会長もおります。そちらにはメールのやり取りが伝わっていないと思います。どうぞそのような先生にも伝わるようにご配慮をお願いします。

2011/3/31 15:57

柏崎高桑です。

刈羽郡病院では県からの要請で毎週末1チームずつ出るようになったとのこと。県医師会からの要請や中村先生の檄、また県からの直接の要請といろいろあるようですが同じものなののでしょうか？

2011/3/31 16:27

新潟市医師会の佐野です。

被災地の医療支援は長期化する事が予想され、継続的な支援が必要です。今後は、どれくらいの期間とどれくらいのチームが必要なのか。新潟県は何チーム編成準備が必要なのか、県医師会でまとめて頂けないでしょうか。

新潟市医師会では、3月30日の臨時代議員会で、日医 JMAT への協力を再度お願い致しております。しかし開業医は気持ちがあっても、休診にして出務することは実際には中々困難と思います。

土曜・日曜日ならできるかもしれません。各病院にも JMAT チーム編成をお願いしているところです。いずれにしても、医師会役員がまず率先してやらざるを得ないかと思えます。新潟市医師会では、救急医療部長の勝井先生を中心として、医師会事務局スタッフでまずチーム編成し、3月31日宮城県石巻市へ出発しております。2チーム目は精神科の先生の入ったチームを準備しております。その後は、今後の会員からの応募に期待をしております。

また、日医から協力要請のありました、検視医については、すでに7名の先生方の応募があります。新潟市内3か所の避難所での医療協力は多くの先生方に参加して頂いて活動中です。

新潟市も昭和39年に新潟地震を経験しております。柏崎市に原発を抱えている新潟県としても他人ごとではないと思えます。お互いに助け合ってまいりましょう。現地で活動してこられました中村会長先生のお言葉には大変重みを感じております。

2011/3/31 17:20

高桑先生

県医師会とは別にメールしました。情報の行き違いがあり、正確な情報に基づいた意見をせず、誤解を与えたかもしれません。もし読まれた皆さんが不快に感じました

ら申し訳ありませんでした。藤原先生には私からお願いしましたが、藤原先生はすでに地震発生直後から準備していたとの事、県からの指示がなく動きようがなかったと言われていました。藤原先生は長岡日赤にいたときから患者さん思いの大変立派な先生と知っておりましたので、素早い準備にさすがだなあと思った次第です。

多くの医師会員が立ち上がってきているとのことはいうれしく、大変ありがたく思っております。支援活動は長丁場だと思いますのでよろしくお願いします。

JMAT 派遣に対するお願い 2011/3/31 17:43

被災地に対する新潟県の医療支援につきましてご連絡いたします。

現在、新潟県からは宮城県石巻市の石巻赤十字病院に「2チーム/日」を派遣しております。2チームのうち1チームは県（行政）が新潟県内の災害拠点病院に対し派遣要請を行い、県が編成を行っております。もう1チームを本会が組織し、JMATとして派遣しております。被災地では切れ目のない医療提供を望んでおり、被災地の希望を叶えるためには多くの会員の先生方のご協力と、きめの細かい調整が不可欠です。残念ながら、現時点でご協力いただける先生方が不足しており、切れ目が生じております。JMATの派遣につきまして、先生方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

県医事務局

JMAT 派遣計画について 2011/3/31 19:45

新潟市医師会の佐野先生からご意見をいただきました。

郡市医師会長および病院長あてに「東北地方太平洋沖地震における日本医師会災害医療チーム（JMAT）派遣について」（新医第760号）を3月29日に発信しましたが、現在、その文書に添付いたしました「派遣計画」のごとくチーム編成をしております。

県立、公立、公的病院への要請はすでに県対策本部が行っております。

現在までの派遣計画を添付ファイルのとおりお示いたしますので、ご確認ください。ご協力ありがとうございます。

なお、5月も派遣要請の可能性がありますので、これからもご協力をお願いいたします。県とは別に本会ではすでに、3月27日と29日には郡市医師会長のほか、県下の全病院長あてにもJMATの派遣を要請しております。

県医事務局

2011/4/1 0:20

上越医師会 服部です。

JMAT 依頼が 03/18 に来て、翌日には全会員に連絡しました。当初は応募がないのではと危惧したのですが、4名のDrが手をあげてくれました。当会では、03/30 現在 JMAT3 チームが待機中です。調整が大変なことは分かりますが、もう少し早く指示が出ない

かと思いました。また、長期戦になることを覚悟して、さらにチームを増やしたいのですが、場所と時期の shift 表があれば、確保しやすいのですが。一段落したら検証して良きシステムを考えたいものです。

当会区域では、03/24 現在、3 か所の避難所に約 450 人が主として南相馬市から避難しておりました。当初行政からは避難所に出向いて健康相談してほしいと依頼がありました。03/24 に 3 か所の避難所を廻ってみると、便秘、腰痛、不眠などの訴えが多いのですが、被災地ではない避難所では医療行為、処方はず、またじっくり話を聞いてあげることは難しい環境と雰囲気でした。医師が避難所を健康相談で廻るのは余り役立たないと判断しました。そこで、18 歳以上の希望者に特定健診に準じた無料健診を行い、後日医師が避難所にてその結果を見ながら健康相談に乗ることにしました。03/29, 30 の 2 日間で約 130 人の健診を行いました。今後長期の避難所生活が予想されますので、心のケア等へも手当したいと考えています。

のほほんと嵐が過ぎ去るのを待っていようと考えている会員はいないと思います。できるだけの協力をしたいと思っている方がほとんどです。熱すぎる過激な言葉は、団結を崩します。我々は熱き思いを胸に秘め、粛々と冷静に、この大惨事の復興に向けて行動しようではありませんか。

2011/4/1 11:35

小千谷市魚沼市医師会 中村です。

上越市 服部先生 私が言ったことが皆様方を不愉快にしたと思うと本当に申し訳ないと思っています。お許し下さい。先生達の声が聞こえなかったのが、私の誤解のもとで、思いあがりでした。先生のお言葉のとおり、皆さんと一丸となって行動していきたいと思っています。

中村 忠夫

JMAT 派遣計画表の送付について 2011/4/1 22:02

医療救護班の派遣計画をお送りいたします。

簡単にまとめたものは、別途お送りいたします。

おかげさまで4月28日（木）までは2チームの派遣が決まりました。

5月以降につきましては、現地の要請、県との調整のうえ、近々日程をお示しいたと存じますので、待機をお願いいたします。

県医事務局

2011/4/1 22:31

佐渡医師会 田尻正記です。

想像を絶する大災害を前に、医療人として今何をなすべきか、何ができるのか誰もが自らに問うています。

当佐渡地区は、先週の土曜日（26日）までの話では、佐渡総合病院主体の派遣チー

ムに、不定期ながらも医師会員も便乗させて貰い、いわば佐渡チームとして現地へ向かうことで合意しておりました。ところが、26日の県と県医師会との協議で、災害拠点病院である佐渡総合病院と、県医のJMATとは別の指揮系統で活動するという事になったそうで、当医師会としては（当初からの日医の定義通り）独自にチームを編成せざるを得なくなりました。

現在、当医師会には現地へ赴くことに賛同してくれる会員が少なくとも3～4人います。勿論、派遣時期や日程等々から、即刻明日にでもと言う訳にはいかず、準備期間も必要ではありますが。しかし、実際に当会でチームを編成するとなると、看護師を揃えることが極めて難しい現況にあります。市民病院や行政保健師等も参加は無理と判り、何とか努力をしたいとは思いますが、途方に暮れています。

もしできれば、難しい作業とは存じますが、県医自身がコーディネーターとなり、各郡市の医師会の枠を越えた横断的なチーム編成を組めないものか（例えば新潟市と佐渡市等の広域の混成チームなど）を、ご検討戴けないでしょうか。

今後、長期に渡る派遣が必要と見込まれます。折角手を挙げて下さる医師もいますので、県全体でそれらの意向を是非とも生かせればと考えます。

2011/4/2 11:58

医療チームの編成に際して薬剤師の手配については既にお知らせしたところですが、看護師については新潟県看護協会にも協力を要請いたしました。

郡市医師会で薬剤師、看護師の調整が難しい場合は、薬剤師会、看護協会との調整を本会でも協力させていただきますので以下までお知らせ願います。

なお、郡市医師会事務局、病院にはファックスで同様にお知らせしております。

また、宿泊の手配も可能な限り行っていますのでご連絡ください。

県医事務局

2011/4/2 13:23

新潟県医師会の渡部です。

JMATの編成につきましては、郡市医師会長の先生方から多大なご協力をいただき感謝申し上げます。

JMATについては、日医が派遣先を指示することになっておりましたが、日医の災害対策本部に照会しても回答がまったく無く、私からも電話で日医副会長に要望しましたが改善されず、都道府県医師会に丸投げの状態でした。

また、被災地の要望の汲み取りが現地の混乱のため容易ではなく、新潟県福祉保健部が3月24日、25日の2日間にわたり宮城県に先遣隊を送り、ようやく現地の要望を伺うことができました。

本会といたしましては、3月17日付け新医第715号にてJMATの派遣について郡市医師会長あて要請し、その後も2回にわたり病院長、郡市医師会長へ再度の要請をいたしましたが、チームの編成ができませんでいました。混乱の中、また、各地域

の避難場所への対応などで大変であったことは理解しておりますが、手挙げをしていただいで初めて調整が可能になることもご理解ください。

事実、最近まで4月の派遣に空白日があり、県医師会と県とでかなりの努力が必要でした。幾つかの反省点がありますが速やかに改善するつもりです。

ご協力及びご指摘をお願いします。

4月4日、5日には今後の活動のために小生が現地に赴き、5月以降の派遣の参考にしていきたいと思います。

2011/4/3 9:21

南魚沼郡市医師会 安部です。

中村先生からの発信により現状がよくわかりましたので、3/31の郡市医師会総会でJMATへの参加を会員にお願いしたところ、早速、五日町病院（石田理事長、亀田 宏先生）から1チーム参加の承諾を得ました。

今後もひきつづき会員の先生方にJMAT参加を呼びかけていきます。

2011/4/6 11:22

十日町市中魚沼郡医師会 池田です。

3/11の東日本大震災の陰に隠れて殆ど報道されていませんが、翌3/12の長野県北部地震では十日町市、津南町は激甚災害地域に指定されました。松代地区、松之山地区、津南地域では家屋の倒壊があり、道路が寸断されライフラインも止まりました。津南病院、上村病院、石川医院では一部損壊の被害があり、某医療機関の従業員の家屋は半壊状態になり、スタッフの懸命な復旧支援を受けています。この様な被害状況の下、3/23から十日町市の要請を受け健康相談と精神科専門医による心の相談が開始されました。

東日本大震災関係では3/11十日町病院・消防編成DMATチームが被災地に向かいました。さらに災害拠点病院として派遣要請があり、3/29同病院から1名が被災地に向かいました。日医JMATには現在3名の先生が手を挙げていますが、看護師、薬剤師、事務員を規定どおり確保出来るかどうか目途がつかないため、3チーム編成できるか微妙です。薬剤師会、看護協会に協力をお願いしているところです。また3箇所の国保診療所で1チーム編成できないか市と交渉中です。長期間の支援が必要と思われるので、当医師会では引き続いて各医療機関、関係機関にJMAT参加をお願いしている処です。

これから参加するチームのために（今後の復旧状況により変化するものと思われませんが）、チームメンバー（医師、看護師、薬剤師、事務）の被災地での具体的な活動内容と出発時までに準備すべき事項（検査機器、医療器材、薬剤、消毒薬等）、どの範囲まで準備すべきか、被災地までの道路事情、被災地での注意事項、その他参考となる事例がありましたら教えて頂けるとありがたいのですが…。

2011/4/6 13:39

村上市岩船郡医師会の澤田です。

中村先生並びに小千谷市魚沼市医師会の皆様大変御苦労様でした。皆様のすばやい行動力には心から敬服致します。我々もただ高みの見物をしていた訳ではなく、何をどのようにすればいいのかわからず、葛藤の連続でした。避難をされた人々の診療時の話等で現地の惨状の事はある程度理解をしていました。日医の JMAT 構想の中でのアンケート調査でも当医師会はマンパワー不足から無理という返事をしております。しかし現状を考えればこれで済むというような問題でない事は重々承知しております。我々も遅まきながら4月1日に緊急理事会を開き、会員の JMAT 参加への呼びかけを行なうと共に、できればチームの編成までもっていきたいと考えています。もう少し時間を頂きたいと思えます。当医師会からは村上総合病院が4月10日から参加の予定です。我々の医師会はあまり災害を経験した事がなく今回の先生のメールから災害医療の事を色々勉強させて頂きました。上越医師会の服部先生の言われた事もわかりますが先生の言葉から刺激を受けた事も事実です。又色々教えて頂ければ幸いです。これからもよろしくお願い致します。